

[127 番の歌](#) 私はどんな人になるべきだろうか

エホバはあなたのことを喜んでいます

「私はあなたのことを喜んでい

ポイント：エホバに喜ばれていないのではないが、という気持ちを乗り越えるために、どんなことができるでしょうか。

1. エホバに忠実に仕えている人たちも、どんな気持ちになることがありますか。

「エホバはご自分の民のことを喜んでいます。（詩 149:4 エホバはご自分の民のことを喜ぶ。救うことによって温厚な人を飾る）そのことを知ると本当にうれしくなります。それでも、エホバは私のことを喜んではいないのではないかと考える人たちもいます。聖書に出てくるエホバに仕えた人たちも、同じような気持ちになったことがありました。（サムエル 1:6-10 しかも、彼女と張り合う妻ペニンナが彼女を傷つけようとして、エホバから子供を授かっていないことをしきりにあざけていた。7 毎年、エホバの家に上っていくたびにそのようにしていた。ハンナはひどくあざけられるので、泣いて、食事をしようとしなかった。8 夫エルカナは言った。「ハンナ、どうして泣いているのか。なぜ食事をしないのか。そんなに悲しまない(*心を痛めない)でほしい。私がいるではないか。10 人の息子がいるよりもいいではないか」。9 皆がシロで食べて飲んだ後、ハンナは立ち上がった。その時、祭司エリはエホバの神殿(c*幕屋のこと)の入り口のそばの席に座っていた。10 ハンナは非常に苦しんでいて、エホバに祈って激しく泣きだした。ヨブ 29:2 過ぎ去った月日に戻れたならいいのに。神が見守ってくださったあの日々に、4 当時、私はまだ元気で、自分の天幕で神が私と親しくしてくださっているのを感じていた。詩 51:11 あなたの前から私を追い払わないでください。聖なる力(*)を私から取り去らないでください)

2. エホバはどんな人のことを喜びますか。

2 聖書によると、私たちはたとえ完全ではなくてもエホバに喜んでもらうことができます。そのためには、イエス・キリストに信仰を持ち、バプテスマを受けることが必要です。（ヨハ 3:16 神は、自分の独り子を与えるほどに人類を愛したのです。そのようにして、独り子に信仰を抱く人が皆、滅ぼされずに永遠の命を受けられるようにしました）そのようにして、罪を悔い改め、エホバに喜ばれる生き方をすると約束したことをみんなに示します。（使徒 2:38 ペテロは言った。「悔い改めなさい。そして一人一人、罪の許しのためにイエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、無償の贈り物である聖なる力を受けます。3:19 ですから、罪を消し去っていただくために、悔い改めて生き方を変えなさい。そうすれば、爽やかにする時期がエホバから来て）エホバは、ご自分と親しくなるために私たちがこうしたことを行うのを見て、とてもうれしく感じます。エホバに心を込めて仕えるためにベストを尽くすなら、エ

ホバは私たちのことを喜び、親しい友になってくれます。(詩 25:14 エホバは、ご自分を畏れる人を親しい友とし、契約を知らせる)

3. この記事ではどんなことを考えますか。

3 ①でも、自分は神に喜ばれていないのではないかと感じることがあるのはどうしてでしょうか。
②神に喜ばれていることはどうしたら分かりますか。③どうすればエホバの愛をもっと確信できるようになるでしょうか。

エホバに喜ばれていないと感ずることがあるのはどうしてか

4.5. 自分には価値がないと思えるとしても、どんなことを確信できますか。

4 多くの人は、子供の頃から自分には価値がないという気持ちと闘ってきました。(詩 88:15 私は若い時から苦しんできました。今にも死にそうです。何も感じなくなりました。私に恐ろしいことが起きるのを、あなたは防ぎませんでした) アドリアン兄弟はこう言います。「私は昔から自分にあまり自信がありません。子供の頃、『家族みんなで楽園に行けますように』とよく祈っていました。でも、自分は楽園に入れてもらえないだろうなと思っていました」。クリスチャンではない家庭で育ったトニー兄弟はこう言います。「私は親から『愛しているよ』とか『よくやったね』と言われたことがありませんでした。それで、どれだけ頑張っても認めてもらえないと感じていました」。

5 自分には価値がないと感ずる時、エホバご自身が私たち一人一人を引き寄せてくださったというのを思い出しましょう。(ヨハ 6:44 私を遣わした父が引き寄せてくださらない限り、誰も私のもとに来ることはできません。私はその人を終わりの日に復活させます) エホバは私たちが自分でも気付かないような良いところに注目し、心の中までも知ってくれています。(サムエ 16:7 しかしエホバはサムエルにこう言った。「彼の容姿や背の高さに注目してはいけない。私は彼を選んでいない。人間の見方と神の見方は違う。人間は目に見えるものを見るが、エホバは心の中を見る」。代二 6:30 あなたが、住まいである天からお聞きになり、許し、それぞれの歩みに応じた報いをお与えになりますように。あなたは一人一人の心をご存じだからです。あなたがただが人の心を知っておられます) そういうエホバが私たちのことを大切に思っていることを伝えてくれるのであれば、それを信じたいと思いませんか。(ヨハ 3:19, 20 そのようにして、私たちは自分が真理から出ていることを確信し、神の前で安心(*心を納得させることが)できます。20 心に責められることがあっても安心できるのです。神は私たちの心より大きく(c*私たち以上に私たちのことを知っているということ)、全てのことを知っているからです)

6. パウロは自分のことをどのように感じていましたか。

6 真理を学ぶ前にしてしまったことが原因で、罪悪感を感じている人もいます。(ペテ 4:3 かつて皆さんは、恥知らずな行い(c*ギ語アセルゲイアの複数形)、激しい欲情、飲み過ぎ、ばか騒ぎ、飲み比べ、忌まわしい偶像崇拝にふけていましたが、世の人々の好むことを行うのはもう十分です) 心を込めてエホバに仕えていても、自分の弱さと闘わなければいけない場合もあります。あなたも、エホバは自分のことを許してくれていないと感ずることがあります。そう感ずるとしても大丈夫です。エホバに仕える人たちの中にも、同じような気持ちになった人たちがいます。例えば、パウロは自分の至ら

なさについて考えて、とても惨めな気持ちになりました。（[ロマ 7:24](#) 私は実に惨めな人間です！こうして死につつある体から、誰が私を救ってくれるのでしょうか）罪を悔い改めてバプテスマを受けていましたが、自分のことを「使徒のうち最も小さな者」とか「罪人の中でも最も罪深い者」と言っています。（[コリ 15:9](#) 私は使徒のうち最も小さな者で、使徒と呼ばれるに値しません。神の会衆を迫害したからです。[テモ 1:15](#) キリスト・イエスは罪人を救うために世に來た、という言葉は真実であり、全面的に受け入れるべきものです。私はそのような罪人の中でも最も罪深い者です）

7. 私たちはどんなことを確信できますか。

7 エホバは、私たちが悔い改めるなら快く許す、と約束してくださっています。（[詩 86:5](#) エホバ、あなたは善い方で、快く許してください。あなたに呼び掛ける人全てに、揺るぎない愛を豊かに示してください）それで、してしまったことを心から反省しているなら、エホバが許してくださっていることを信じましょう。（[コロ 2:13](#) 皆さんは、自分の過ちと、体に割礼を受けていないことのゆえに死んでいましたが、神は皆さんをキリストと共に生かしてくださいました。私たちの過ち全てを優しく許し、）

8-9. 自分は十分にはできていない、という気持ちを乗り越えるにはどうしたらいいですか。

8 私たちはみんな、エホバのためにできる限りのことをしたいと思っています。でも、エホバに喜んでもらえるほど十分にはできていないという気持ちになるかもしれません。[アマンダ姉妹](#)はこう言います。「私はベストを尽くしてエホバに仕えていても、もっと頑張らなければいけないという気持ちになることがあります。自分にできる以上のことをやろうとしてしまうんです。そしてそれができないと落ち込み、エホバもがっかりしているだろうなと思ってしまいます」。

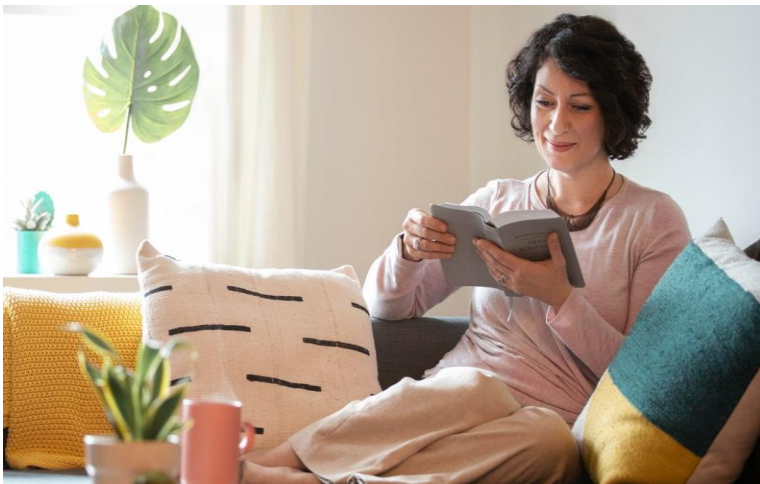
9 どんなに頑張ってもエホバに喜んでもらうことなんてできない、という気持ちをどうすれば乗り越えられるでしょうか。エホバが厳しい方ではなく、私たちにできる以上のことを求めたりはしないということを思い出しましょう。どんなにわずかであつても、ベストを尽くしているなら喜んでくださいます。また、聖書に書かれている、心を込めてエホバに仕えた人たちの例を考えることもできます。例えば、[パウロ](#)は長い間一生懸命働き、何千キロも旅をしてたくさんの会衆をつくりました。でもその後、状況が変わって伝道をあまり行えなくなった時、パウロに対するエホバの見方は変わってしまったのでしょうか。そんなことはありません。できることを行い続けたパウロをエホバは喜びました。（[使徒 28:30, 31](#) パウロは、借りた家に丸2年とどまり、会いに來る人を皆親切に迎え、31 妨げられることなく、少しも氣後れせずに、神の王国について伝えたり主イエス・キリストについて教えたりした）私たちがエホバのために行えることも状況によって変わります。でもエホバが目しているのは、私たちがどんな気持ちで行うかです。では、エホバは私たちのことを喜んでいることをどのように伝えてくれているのでしょうか。

エホバが私たちへの愛を伝える方法

10. エホバはどのようにして、私たちに温かい言葉を掛けてくれていますか。（[ヨハネ 16:27](#)）

10 聖書。エホバはご自分に仕える人たちを愛し、喜んでいることをぜひ伝えたいと思っています。聖書には、エホバがイエスに「これは私の愛する子、私はこの子のことを喜んで

た記録が2つ収められています。（[マタ 3:17](#) さらに天から声がした。「これは私の愛する子、私はこの子のことを喜んでいる」；[17:5](#) ペテロがまだ話しているうちに、明るい雲が皆を覆った。そして何と、雲の中から声があって、「これは私の愛する子、私はこの子であることを喜んでいる。彼の言うことを聞きなさい」と言った）**あなたもエホバからこうした言葉を掛けてもらいたい**と思いますか。エホバの声を直接聞くことはできませんが、エホバは**聖書を通して私たちに語り掛けて**くれています。**福音書に記録**されている**イエスの優しい言葉**を、**エホバからの言葉と考える**ことができます。（[ヨハネ 16:27](#) 父はあなたたちに愛情を抱いているのです。あなたたちは、私に愛情を抱き、私が神の代理として来たことを信じているからですを読む。）**イエスはエホバと考え方や性格がよく似ている**からです。イエスは、**間違いをしながらも頑張る弟子たちに、愛していることを伝え**ました。その記録について読む時、**エホバが私たちに****も同じように言ってくれている様子をイメージ**することができます。（[ヨハ 15:9](#) 父が私を愛したように、私はあなたたちを愛しました。いつも私に愛されるようにしていなさい、[15](#) 私はあなたたちをもう奴隷とは呼びません。奴隷は主人が行うことを知らないからです。私はあなたたちを友と呼びました。天の父から聞いたことを全てあなたたちに知らせたからです）



エホバに愛され、喜ばれていることを、**いろいろな時に感じる**ことができます。（10 節を参照。）

11. 試練に遭うなら、神に喜ばれていないことになりますか。（[ヤコブ 1:12](#)）

11 **必要な助けを与えること。**エホバは**私たちを助けたい**と思っていて、**生活に必要なものを与えて**くださいます。そうではあっても、私たちが**正しい人ヨブのように試練に遭う**ことを**許すこと**も**あります**。（[ヨブ 1:8-11](#) エホバはサタンに言った。「私に仕えるヨブに注目したか。地上に彼のような人はほかにいない。神に忠誠を尽くす(*非難されるところがない)正直な人で、神を畏れ、悪から離れている」。9 サタンはエホバに答えた。「ヨブは本当に純粋な気持ちで神を畏れているのでしょうか。10 彼も家族も全ての持ち物も、あなたが柵で囲んで守ったものではありませんか。あなたの祝福によって彼の仕事はうまく運び、家畜は非常に多くなりました。11 試みに、あなたの手を出して、彼の持つもの全てを破壊してください。彼はきっと面と向かってあなたを侮辱します」）でも、**エホバに喜ばれていないわけでは**ありません。**実のところ、試練に遭う**時、私たちは**エホバをどれほど深く愛し、頼っているかを証明**することができます。（[ヤコブ 1:12](#) **試練に耐え続ける人は幸せです。神から良いと認められるとき、命の冠を受ける**からです。その冠は、エホバ(*)がご自分を愛し続ける人たちに約束したものですを読む。）エホバは**頑張る私たちに忍耐する力を与え、優しく助けて**くださいます。

12. ドミトリー兄弟の経験からどんなことを学べますか。

12 アジアに住むドミトリー兄弟の例を考えてみましょう。兄弟は失業し、何カ月も仕事を見つけられませんでした。兄弟はエホバを信頼し、宣教にもっと参加するようにしました。でも、なかなか仕事は見つかりませんでした。そんな時、兄弟は深刻な病気にかかり、寝たきりになってしまいます。それで兄弟は夫としても父親としてもふがいなく思い、自分はもうエホバに喜ばれていないのではないかと感じるようになりました。ある晩、娘がイザヤ 30 章 15 節主権者である主エホバ、イスラエルの聖なる方はこう言う。「あなたたちは、私のもとに戻って休むなら、救われる。平静を保ち、信頼するなら、力を得る」。しかし、あなたたちはそうしようとしなかったの言葉が書かれた紙をベッドの所に持ってきました。それは「平静を保ち、信頼するなら、力を得る」という言葉でした。そして、「パパ、つらいときにはこの言葉を思い出してね」と言いました。兄弟は、エホバが助けてくださっているおかげで、家族は食べる物にも着る物にも住む所にも困っていない、ということに気がきました。こう言っています。「私に必要だったのは、平静を保ち、エホバを信頼し続けることだったんです」。あなたも同じような試練を経験しているなら、エホバが忍耐できるように助け、世話してくださることを確信できます。



エホバに愛され、喜ばれていることを、いろいろな時に感じることができます。（12 節を参照。）* 写真や挿絵: 写真は再現。

13. エホバは私たちを愛していることを、どのように伝えることができますか。

13 仲間の兄弟姉妹。エホバは、仲間の兄弟姉妹を通して、私たちを愛していることを伝えてくれます。例えば、ちょうど必要なタイミングで私たちに励ましの言葉を掛けるよう、兄弟姉妹を動かすことがあります。アジアのある姉妹は、大きなストレスを抱えていた時に、まさにそのことを経験しました。姉妹は失業し、重い病気になりました。その後、夫が重大な罪を犯し、長老ではなくなりました。姉妹はこう言っています。「何でこんなことが起きるんだろうと思いました。私が何か悪いことをしたせいで、エホバから見放されてしまったのではないかと思いました」。姉妹はエホバに愛されていることを実感できるようにしてください、と祈りました。エホバはどのように答えたのでしょうか。姉妹はこう言っています。「会衆の長老たちが話をしてくれて、エホバに愛されていることを確信できるように助けてくれました」。その後しばらくして、姉妹はまたエホバに、あなたが私のことを喜んでくださることが分かるようにしてくださいと祈りました。どうなったのでしょうか。こう言っています。「まさにその日に、会衆のある兄弟姉妹から手紙をもらいました。温かいメッセージを読んでいるうちに、エホバが私の祈りに答えてくだ

さったということが分かりました」。エホバはほかの人の親切な言葉を通して、私たちが愛しているということを伝えてくださいます。（詩 10:17 エホバ、あなたは温厚な人たちの訴えを聞いてくださる。彼らの心を強くし、よく注意を払ってくださる）



エホバに愛され、喜ばれていることを、いろいろな時に感じる

14. エホバは私たちに愛を伝えるためにどうすることもありますか。

14 エホバは私たちのことを愛しているので、必要なときには兄弟姉妹を通して助言を与えます。例えば1世紀には、パウロに14通の手紙を書かせました。そうした手紙の中でパウロは、兄弟姉妹に率直ながらも愛のこもった助言を与えました。エホバがパウロにそのような助言を書かせたのはどうしてでしょうか。エホバは「かわいいわが子」を矯正する良い父親のようです。（格 3:11, 12 わが子よ、エホバの矯正(*指導)を拒否してはならない。その方の戒めを嫌悪してはならない。12 父親がかわいいわが子を戒めるように、エホバは愛する人を戒めるからである）それで、聖書に基づく助言を与えられる時には、「自分はエホバをがっかりさせている」とではなく、「エホバに愛されている」と考えることができます。（ヘブ 12:6 エホバ(*)は愛する人を矯正するからだ。ご自分が子として迎え入れる人を皆むち打つ(*罰する)のである）ほかにも、エホバが私たちのことを喜んでいるといえる証拠があるのでしょうか。

エホバに喜ばれていることはどんなことから分かるか

15. エホバはどんな人に聖なる力を与えますか。そのことについて考えると、安心できるのはどうしてですか。

15 エホバに愛され、喜ばれている人は、聖なる力を与えてもらうことができます。（マタ 12:18 見なさい、私が選んだ奉仕者、私が愛し、喜んでいる者である。私は彼に聖なる力を与え、彼は、公正とは何かを国々に明らかにする）それで、「聖なる力が生み出すものを生活のいろいろな面で表せているだろうか」と考えてみましょう。例えば、エホバを知る前よりも、ほかの人に辛抱強く接することができるようになったでしょうか。聖なる力が生み出すものを表せているなら、それはエホバに喜ばれていることの証拠です。（「聖なる力が生み出すもの」の囲みを参照。）



エホバに喜ばれていることは、どんなことから分かりますか。（15 節を参照。）

「聖なる力が生み出すもの」

聖なる力が生み出すものの 9 つの面をもっと調べてみましょう。以下の資料が役立ちます。（ガラ 5:22, 23 一方、聖なる力(*)が生み出すもの(d*実)は、愛、喜び、平和、辛抱強さ、親切、善良、信仰、23 温和、自制です。このようなものを否定する律法はありません）

- 「愛 とても大切な特質」（塔研 17.08）愛とは何かを一言で言うのは簡単ではありません。しかし、聖書は愛がどんな考え方や行動に表われるかを述べています。…「神は愛」です。エホバは愛そのものです。神の行なわれることすべてに愛が表われています。エホバが人類に示された最大の愛とは何でしょうか。イエスを遣わし、わたしたちのために苦しみに遭って命をなげうつようにされたことです。…神の愛のおかげで、わたしたちは罪を許され、永遠の命の希望を持つことができます。
- 「喜び神が与えてくださる特質」（塔研 18.02）喜びは、「良いものを得ること、あるいは期待することによって引き起こされる感情」と定義されています。喜びは内面の深いところにあるので、周りの状況に左右されません。（テサー 1:6）動揺させられるような問題にぶつかっても失われません。
- 「平和 どうすれば保てますか」（塔研 18.05）神との平和な関係を築きたいという願いや、神への信頼を表わすには、エホバの命令や義の原則に従わなければなりません。（エレ 17:7, 8。ヤコ 2:22, 23）そうすれば、神はわたしたちに近づいてくださり、平穏な気持ちを持たせてくださいます。
- 「辛抱強さ 希望を持って耐え忍ぶこと」（塔研 18.08）聖書中の辛抱強さという言葉には、どんな意味があるのでしょうか。単に、難しい状況を我慢するという意味ではありません。辛抱強い人は、必ず状況が良くなるという希望を持って耐え忍びます。自分のことだけではなく、他の人のことも気遣います。不当に扱われたりいらいらさせられたりしても、希望を捨てずに相手との良い関係を取り戻そうとします。聖書は、愛が生み出す様々な特質の最初に「辛抱強[さ]」を挙げています。
- 「親切 言葉と行ないに表われる」（塔研 18.11）親切とは、他の人への誠実な気遣いを言葉と行ないで示すことです。うわべだけの礼儀ではなく、深い愛と思いやりに動かされて行動することです。親切は神の霊の実の一面であり、クリスチャンが身に着けるべきものです。
- 「善良 どうすれば身に着けられるか」（塔研 19.03）だれでも善良な人に引かれます。わたしたちもそのような人になりたいと思うものです。しかし、今の世の中で善良さを表わすのは簡単ではあ

りません。・・・善良さとは、性質や状態が良いことです。道徳的に優れていて、悪や腐敗のない状態とも言えます。善良な人は、周囲に良い感化を与え、他の人を進んで助けようとします。

- 「信仰 エホバとの関係を強めるもの」 (塔研 19.08) 信仰とは、聖書の真理を信じたり認めた
りするだけのことでありません。「邪悪な天使たちも[神がいることを]信じておびえてい[る]」とある
通りです。・・・信仰には2つの面があります。第一に、「信仰とは、望んでいる事柄が実現するとい
う確信」です。・・・第二に、信仰は「目に見えないものが実在するというはっきりとした証拠」、ま
たは「納得のいく証拠」です。
- 「温和 なぜ自分のためになるか」 (塔研 20.05) 温和は、気質が穏やかなことです。温和な人
は、人に優しく親切です。いらいらするようなことが起きても、穏やかで気持ちをコントロールできま
す。温和な人は、心が強い人です。温和に相当するギリシャ語は、手なづけられた野生の馬を指して用
いられました。調教されることによって馬の力がきちんと制御されたからです。同じように、温和な人
は荒々しい行動を抑え、他の人と仲良くできます。
- 「自制 なぜ欠かせないか」 (塔研 20.06) 自制心のある人は過敏に反応しません。神を悲しませ
るようなことを言ったり行ったりしないよう気を付けます。・・・エホバに喜ばれるためには自制心が
欠かせません。長年エホバに仕えてきた人でも、自分の言動をコントロールしなければ、エホバとの友
情を失う恐れがあります。・・・モーセは自制しませんでした。水を出すという奇跡を行ったエホバに
注意を向けませんでした。

16. エホバはどんな人に良い知らせを託しますか。そのことを考えると、どんな気持ちになりますか。(テサロニケ第一 2:4)

16 エホバは良い知らせを伝える任務を、信頼している人に与えます。(テサロニケ第一 2:4 私たち
は神から良いと認められ、良い知らせを託されたのですから、人に喜ばれるためではなく、私たちの心を調べる神に
喜ばれるように語りますを読む。) ジャスラン姉妹の例を考えてみましょう。ある朝、姉妹はあまり
気分が良くありませんでした。こう言っています。「力が湧いてこなくて、こんな私が何かの役
に立てるんだろうか」と思いました。でも、開拓奉仕をしていましたし、奉仕の日だったので、祈
ってから出掛けることにしました」。すると、メリーという感じの良い女性に出会い、聖書レッ
スンを始めることができました。数カ月後その女性は、ちょうど神に助けを求めて祈っていた時
に姉妹が訪ねてきたと話してくれました。姉妹は振り返ってこう言います。「エホバが『本当に
よく頑張っているね』と言ってくれているように感じました」。もちろん、伝道をしていても誰
もが良い反応をするとは限りません。でも、私たちが良い知らせを伝えるためにベストを尽くし
て頑張るなら、エホバが喜んでくださっていることを確信できます。



エホバに喜ばれていることは、**どんなことから分かり**ますか。（16節を参照。）* 写真や挿絵: 写真は再現。

17. ビッキー姉妹の例から どんなことを学べますか。（詩編 5:12）

17 **エホバに喜ばれている人は、贖いに基づいて罪を許していただくことができます。**（テモー 2:5，6 **神はただひとりであり、神と人間との間の仲介者もただひとり、キリスト・イエスです。人間だったその方は、6 全ての人のための対応する贖い(*)として自分を与えました。このことについては、定められた時に語られることになっています。）**でも、**贖いに信仰を持**っていて、**バプテスマを受けては**いても、**エホバに喜ばれているとはなかなか思えない場合**はどうでしょうか。**自分の感じ方が必ずしも正しいとは限らない**，**ということ覚えておくように**しましょう。その**一方で**，**エホバはいつでも信頼できる方**です。**贖いに信仰を持つ人たちのことを正しい人と見て祝福する、と約束**してくださっています。（詩編 5:12 **エホバ、あなたは正しい人を祝福してください。大盾で囲むように、恵みで覆ってください**を読む。ロマ 3:26 **また、神がキリストを差し出したのは、ご自分が今この時にも正しいということを示すためでもありました。今イエスに信仰を持つ人を正しいと認めることも、正しいのです**）**ビッキー姉妹**の例を考えてみましょう。ある日、姉妹は**贖いについてじっくり考**えて、大切なことに気付きました。こう言っています。「**エホバがそれまでずっとわたしのことを辛抱し.....てくださっていたのに、わたしはエホバに、『あなたの愛はわたしに及ぶほど大きくはありません。み子の犠牲はわたしを覆えるほどのものではありません』**と言っていたのです」。姉妹は、**贖いという贈り物についてじっくり考**えることで、**エホバに愛されていることを実感できるように**になりました。**私達も贖いについてじっくり考えるなら、エホバに愛され喜ばれていると**感じることができるようになります。



エホバに喜ばれていることは、**どんなことから分かり**ますか。（17節を参照。）

18. エホバを愛し続けているなら、どんなことを確信できますか。

18 この記事で学んだ点を自分に当てはめて考えるように努力しても、がっかりしたり、エホバに喜ばれていないように感じたりすることがあるかもしれません。そういう時は、エホバは「ご自分を愛し続ける人たち」を喜ぶということを思い出してください。（ヤコ 1:12 試練に耐え続ける人は幸せです。神から良いと認められるとき、命の冠を受けるからです。その冠は、エホバ(*)がご自分を愛し続ける人たちに約束したものです）これからもエホバとの絆を強め、エホバに喜ばれているといえる証拠に目を向けるようにしましょう。エホバは「私たち一人一人から遠く離れてはい[ない]」のです。（使徒 17:27 人々が神を知ろうとするため、神を探し求めて本当に見つけるためです。実のところ神は、私たち一人一人から遠く離れてはいません）

どのように答えますか

1. エホバに喜ばれていないと感じる場合があるのはどうしてですか。

- ・ S04 自分に自信が無かったり消極的な家庭環境のせいで、子供の頃から自分には価値がないという気持ちと闘ってきた人々が居られる。
- ・ S06 真理を学ぶ前にしてしまったことが原因で、罪悪感を感じている人もおられる。
- ・ S08 喜んでもらえるほど十分にはできていない、もっと頑張らなければいけないという気持ちになる人も居られる。

2. エホバは、私たちを愛し喜んでいることをどのように伝えてくれていますか。

- ・ S10 聖書。エホバはご自分に仕える人たちを愛し、喜んでいることをぜひ伝えたいと思っている。聖書には、エホバがイエスに「これは私の愛する子、私はこの子のことを喜んでいる」と言った記録が2つ収められている。エホバは聖書を通して私たちに語り掛けてくれています。福音書に記録されているイエスの優しい言葉を、エホバからの言葉と考えることができる。イエスはエホバと考え方や性格がよく似ているので、イエスが間違いをしながらも頑張る弟子たちに愛していることを伝えたことから、エホバが私たちにも同じように言ってくれている様子をイメージできる。
- ・ S11 必要な助けを与えること。エホバは私たちが助けたいと思っていて、生活に必要なものを与えてくださるが、私たちが正しい人ヨブのように試練に遭うことを許すこともある。でも、エホバに喜ばれていないわけではない。実のところ、試練に遭う時、私たちはエホバをどれほど深く愛し、頼っているかを証明でき、エホバは頑張る私たちに忍耐する力を与え、優しく助けてくださる。
- ・ S13 エホバは、仲間の兄弟姉妹を通して、私たちが愛していることを伝えてくれて、ちょうど必要なタイミングで私たちに励ましの言葉を掛けるよう、兄弟姉妹を動かすことがある。
- ・ S14 エホバは私たちのことを愛しているので、必要なときには兄弟姉妹を通して助言を与える。エホバも例えばパウロの14通の手紙をとおして、兄弟姉妹に率直ながらも愛のこもった助言を与えた。それで、聖書に基づく助言を与えられる時には、「自分はエホバをがっかりさせている」とではなく、「エホバに愛されている」と考えることができる。

3. エホバに喜ばれていると確信できるのはどうしてですか。

- ・S15 エホバに愛され、喜ばれている人は、**聖なる力を与えてもらうことができる**。例えば、エホバを知る前よりも、ほかの人に辛抱強く接することができるようになったり、**聖なる力が生み出すものを表せている**なら、それは**エホバに喜ばれていることの証拠**。（聖なる力が生み出すものの9つの面**(愛、喜び、平和、辛抱強さ、親切、善良、信仰、温和、自制)**をもっと調べてみる）
- ・S16 エホバは**良い知らせを伝える任務**を、信頼している人に与える。伝道をしていても誰もが良い反応をする訳ではないが、私たちが**良い知らせを伝えるためにベストを尽くして頑張る**なら、エホバが**喜んでくださっている**ことを**確信**できる。
- ・S17 エホバに喜ばれている人は、**贖いに基づいて罪を許していただくことが**できる。贖いに信仰を持っていて、**バプテスマを受けて**はいても、**エホバに喜ばれているとはなかなか思えない**場合は、自分の**感じ方が必ずしも正しいとは限らない**、ということを覚えておくようにする。その一方で、エホバは**いつでも信頼できる方**で、**贖いに信仰を持つ人たちのことを正しい人と見て祝福する、と約束**してくださっている。
- ・S18 この記事で**学んだ点を自分に当てはめて考えるように努力**しても、**がっかり**したり、**エホバに喜ばれていない**ように感じたりしても、エホバは「**ご自分を愛し続ける人たち**」を**喜ぶ**ということを思い出す。**これからもエホバとの絆を強め、エホバに喜ばれているといえる証拠に目を向けるようにする**。エホバは「**私たち一人一人から遠く離れては(居られない)**」。

88 番の歌 あなたの道を教えてください

△ 写真や挿絵: 写真は再現。

△ 写真や挿絵: 写真は再現。

△ 写真や挿絵: 写真は再現。

△ **(ルカ 3:22)** 聖なる力がハトのような形をとってイエスの上に下り、天から声があった。「あなたは私の愛する子、私はあなたのことを喜んでいる」。

△ (詩 149:4) エホバはご自分の民のことを喜ぶ。救うことによって温厚な人を飾る。

△ (サムー 1:6-10) しかも、彼女と張り合う妻ペニンナが彼女を傷つけようとして、エホバから子供を授かっていないことをしきりにあざけていた。7 毎年、エホバの家^{*}に上っていくたびにそのようにしていた。ハンナはひどくあざけられるので、泣いて、食事をしようとしなかった。8 夫エルカナは言った。「ハンナ、どうして泣いているのか。なぜ食事をしないのか。そんなに悲しまない*でほしい。私がいるではないか。10 人の息子がいるよりもいいではないか」。9 皆がシロで食べて飲んだ後、ハンナは立ち上がった。その時、祭司エリはエホバの神殿*の入り口のそばの席に座っていた。10 ハンナは非常に苦しんでいて、エホバに祈って激しく泣きだした。